

## (10) 府立丹波支援学校



所在地	〒629-0154 南丹市八木町柴山坊田118
電話・FAX	0771-42-5185 FAX 0771-42-5186
HP(URL)	<a href="https://www.kyoto-be.ne.jp/tanba-s/cms/">https://www.kyoto-be.ne.jp/tanba-s/cms/</a>
障害種別	知的障害、肢体不自由
設置部	小学部、中学部、高等部（普通科）

### 1 沿革の概要

昭和53年	京都府立丹波養護学校開校 開校式及び第1回入学式
平成元年	プレイルーム完成
平成11年	プレイルーム新設
平成13年	4普通教室増築、新生活訓練棟新設、旧生活訓練棟改築
平成15年	特別教室棟完成
平成19年	「丹波養護学校地域支援センター」を開設
平成23年	丹波養護学校から丹波支援学校に名称を変更 伴い地域支援センター名を「たんば地域支援センター」に改称
平成28年	オリンピック・パラリンピック教育推進事業実践校指定
平成29年～30年	文部科学省指定特別支援教育に関する実践研究充実事業指定

### 2 教育方針

「学び合い・育ち合い・豊かに生き抜こうとする子ども達」

- (1) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服しようとする意欲の育成
- (2) 基礎的な学力・健康の向上と豊かな人間性の育成
- (3) 一人一人に応じて自立し社会参加する資質や能力の育成
- (4) 生涯にわたり豊かに生き抜く力の育成

### 3 学校の特徴

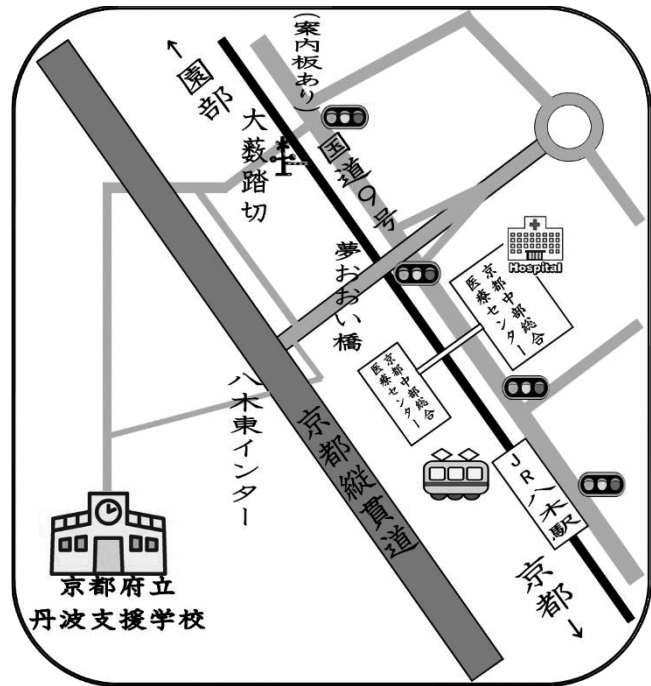
- (1) 丹波の地域を学習のキャンパスとし、一人一人の豊かな成長と発達をめざす教育の具体的展開
- (2) 南丹圏域の相談支援ネットワーク機能を生かし、一人一人の進路希望の実現をめざす進路指導の充実
- (3) 南丹圏域におけるすべての障害のある子ども達の教育的ニーズに応じた取組をサポートする地域支援センター機能の充実
- (4) 障害のある子ども達への理解と支援を広げるため、地域支援体制の構築

### 4 幼児・児童・生徒数（地域別）

（令和3.5.1現在）「（）内は、分教室で内数」

	京都市	向日市	長岡京市	八幡市	宇治市	城陽市	京田辺市	木津川市	亀岡市	南丹市	綾部市	福知山市	舞鶴市	宮津市	京丹後市	乙訓郡	久世郡	綴喜郡	相楽郡	船井郡	与謝郡	府外	計
小学部									41	19										5			65
中学部	1								36	10										4			51
高等部	3(1)								62(1)	13										5			83(2)
合計	4(1)								139(1)	42										14			199(2)

【学校位置略図】



## (11) 府立丹波支援学校亀岡分校



所在地	〒621-0045 亀岡市千代川町湯井巽筋38
電話・FAX	0771-23-7847 FAX 0771-23-7847
HP(URL)	<a href="https://www.kyoto-be.ne.jp/tanba-kameoka-s/cms/">https://www.kyoto-be.ne.jp/tanba-kameoka-s/cms/</a>
障害種別	知的障害、肢体不自由
設置部	小学部、中学部（高等部分教室）
関係施設	社会福祉法人 花ノ木 花ノ木医療福祉センター

### 1 沿革の概要

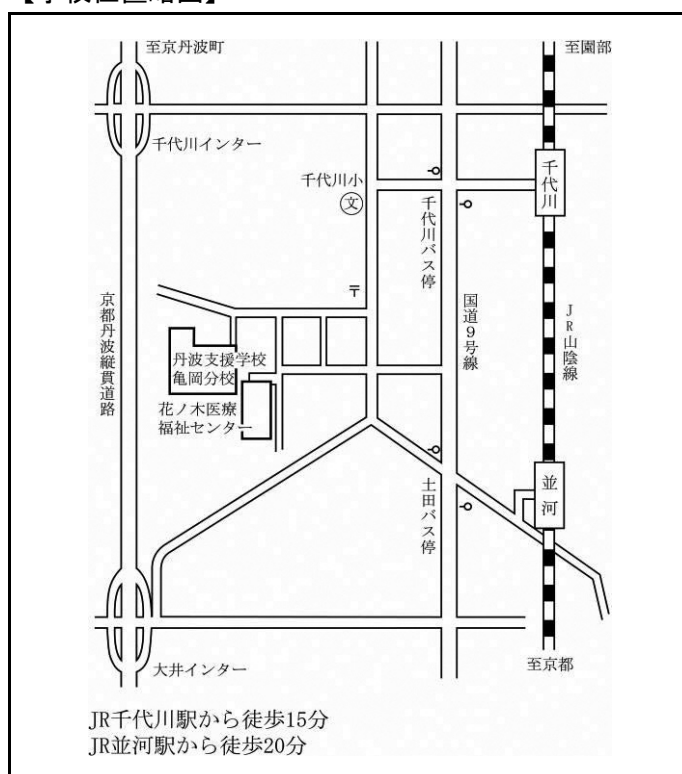
- 昭和51年 亀岡小学校重度障害児学級として花明、木の花園内に「みのり学級」開設
- 昭和55年 京都府立丹波養護学校亀岡分校開校
- 昭和60年 高等部分教室設置
- 平成16年 開校25周年記念事業実施
- 平成20年 亀岡分校休校（分教室のみ）
- 平成22年 亀岡分校再開
- 平成23年 京都府立丹波支援学校亀岡分校に名称を変更

### 2 教育方針

花ノ木医療福祉センターに入所している重篤な障害のある児童生徒を教育する学校であるという分校の特徴及び特別支援教育の考え方を踏まえ、下記の方針を掲げる。

- (1) 学校経営計画に基づく計画的・組織的・効率的経営を推進する。
- (2) 一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導を推進する。
- (3) 安全安心の教育活動を推進する。
- (4) 保護者・花ノ木医療福祉センター・地域等関係する諸機関と円滑な連携を図る。

### 【学校位置略図】



### 3 学校の特徴

- (1) 花ノ木医療福祉センターに入所している学齢児を対象
- (2) 日常的な医療情報に基づく児童生徒の体調に留意した学習指導
- (3) 少人数を生かした個別課題に応じた学習指導
- (4) 近隣の小学校、丹波支援学校本校等の児童生徒や花ノ木医療福祉センター入・通所者との豊かな交流及び共同学習

### 4 幼児・児童・生徒数（地域別）

(令和3.5.1現在)

地域	京都市	向日市	長岡京市	八幡市	宇治市	城陽市	京田辺市	木津川市	亀岡市	南丹市	綾部市	福知山市	舞鶴市	宮津市	京丹後市	乙訓郡	久世郡	綴喜郡	相楽郡	船井郡	与謝郡	府外	計
小学部	1																						1
中学部	2																						2
合計	3																						3

## (12) 府立中丹支援学校

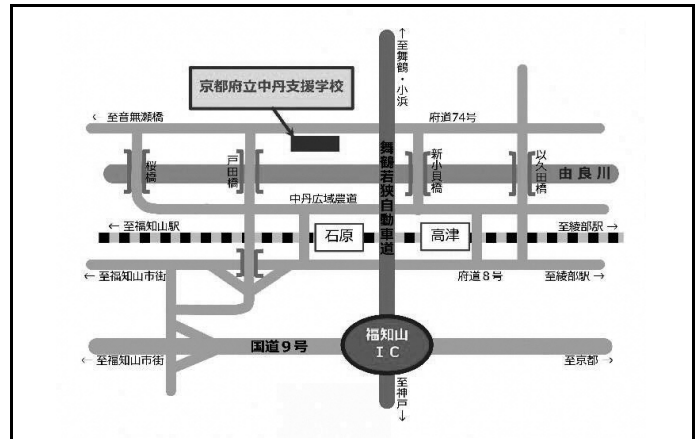


所在地	〒620-0003 福知山市大字私市小字打溝8
電話・FAX	0773-32-0011 FAX 0773-32-0012
HP(URL)	http://www.kyoto-be.ne.jp/tyuutan-s/cms/
障害種別	知的障害、肢体不自由
設置部	小学部、中学部、高等部（普通科）

### 1 沿革の概要

- 昭和59年 府立中丹養護学校開校
- 昭和60年 管理棟、体育館完成
- 昭和61年 訓練棟、プール完成
- 平成5年 開校10周年記念事業実施
- 平成12年 教室棟増築
- 平成15年 開校20周年記念事業実施
- 平成19年 「中丹養護学校教育支援センター」を開設
- 平成23年 「中丹支援学校」に名称を変更に伴い地域支援センター名を「中丹教育支援センター」に改称
- 平成25年 開校30周年記念事業実施

【学校位置略図】



### 2 教育目標

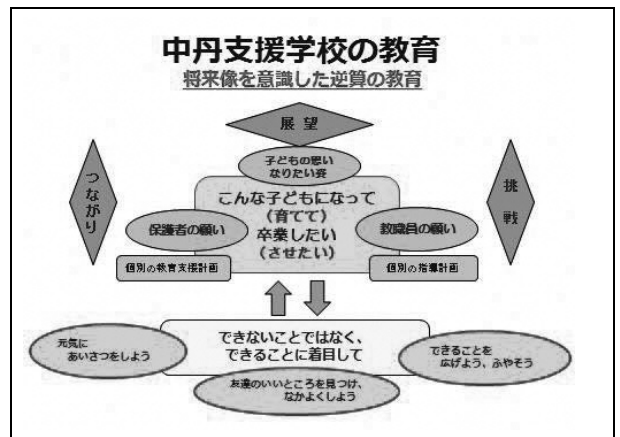
なりたい姿、なっしてほしい姿を展望〈展望する力〉し、子ども同士や教職員、家庭、地域、関係機関とつながり〈つながる力〉ながら、将来の姿に向かって自分の力を精一杯発揮〈挑戦する力〉できるようにする。

自立と社会参加、希望する進路の実現を目指す。

- (1) 命を大切に、健康に生きる力を育てる
- (2) コミュニケーションの力を高め、社会性を育てる
- (3) 学力を育てる

### 3 学校の特徴

- (1) 知的障害・肢体不自由併設の特別支援学校
- (2) 「個別の教育支援計画」に基づき、「個別の指導計画」を活用した一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実
- (3) 高等部の校内職業実習、事業所での就業体験等職業教育の充実と希望進路の実現を図る指導の展開
- (4) 中丹教育支援センターによる地域の特別支援教育力の向上
- (5) 地域に開かれた学校づくりと交流及び共同学習の推進(学校間交流、居住地校交流)



### 4 幼児・児童・生徒数（地域別）

(令和3.5.1現在)

地域	京都市	向日市	長岡京市	八幡市	宇治市	城陽市	京田辺市	木津川市	亀岡市	南丹市	綾部市	福知山市	舞鶴市	宮津市	京丹後市	乙訓郡	久世郡	綴喜郡	相楽郡	船井郡	与謝郡	府外	計
小学部											12	35											47
中学部											5	32											37
高等部											22	52											74
合計											39	119											158

# (13) 府立舞鶴支援学校

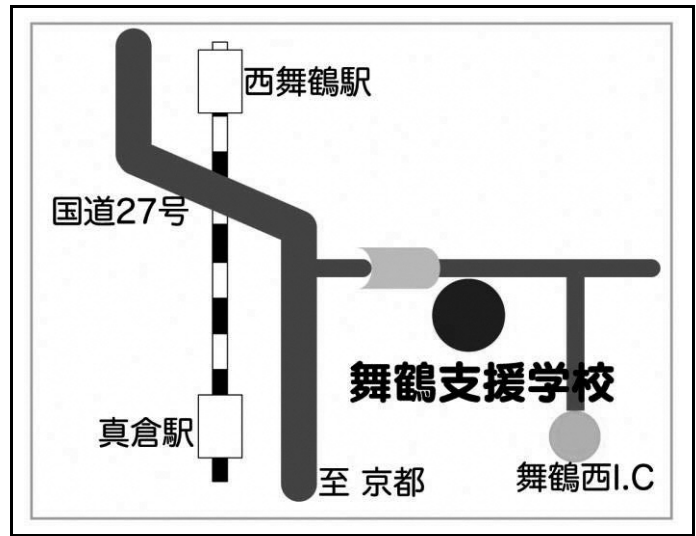


所在地	〒624-0812 舞鶴市字堀4-1
電話・FAX	0773-78-3133 FAX 0773-78-3135
HP(URL)	<a href="http://www.kyoto-be.ne.jp/maizuru-s/cms">http://www.kyoto-be.ne.jp/maizuru-s/cms</a>
障害種別	知的障害、肢体不自由
設置部	小学部、中学部、高等部（普通科）

## 1 沿革の概要

- 平成16年 4月 新設養護学校開設準備室を府立舞鶴養護学校（現行永分校）内に設置
- 平成16年 9月 平成16年条例第30号により、府立舞鶴養護学校（新設）を舞鶴市堀地区に設置
- 平成17年 3月 竣工式を実施
- 平成17年 4月 府立舞鶴養護学校開校
- 平成19年 4月 「府立舞鶴養護学校特別支援教育トータルサポートセンター」を開設
- 平成23年 4月 「京都府立舞鶴支援学校」に名称を変更  
併い地域支援センター名を「舞鶴支援学校トータルサポートセンター」に改称
- 平成28年 4月 行永分校に、高等部分教室を設置

【学校位置略図】



## 2 教育方針

- ～「よく学び、より鍛え、よりよく挑む」児童生徒の育成～
- (1) 一人一人の教育的ニーズに応じて先導的で特色ある教育の推進
  - (2) 高い専門性に基づく教育の充実
  - (3) 進路希望の実現を図る教育の推進
  - (4) 豊かな社会性を育む教育の充実
  - (5) 芸術・文化・スポーツ活動の充実
  - (6) 地域の特別支援教育のセンターとしての役割の強化

## 3 学校の特徴

- (1) 個別の指導計画において、適切なアセスメントを行うとともに、「健康な心身」「生活に生きる確かな力」「豊かな人間性と社会性」の観点で、「つきたい力」を設定し、意欲と主体性を引き出す指導方法の実施
- (2) キャリア教育の観点を踏まえ、社会性を育むとともに生活に生きる力の育成、小学部「働く生活を見通した学習」、中学部「作業学習」、高等部「職場体験学習」など、よりよい社会参加の実現及び生活の質を高めるための指導を重点化
- (3) 障害特性に応じた効果的な指導を進めるために、小・中学部に自閉症並びに知的障害学級を設置し、高等部では12年間の系統性をふまえ、卒業後の社会自立に向けてスムーズに移行できる力を育むためにコース制を導入
- (4) 継続的な交流及び共同学習、地域行事への参加等による地域に開かれ地域に貢献する教育活動を展開
- (5) 地域における特別支援教育のセンター的な役割を積極的に果たすため「舞鶴支援学校トータルサポートセンター（TSC）」を設置

## 4 幼児・児童・生徒数（地域別）

（令和3.5.1現在）

地域 学部	京都市	向日市	長岡京市	八幡市	宇治市	城陽市	京田辺市	木津川市	亀岡市	南丹市	綾部市	福知山市	舞鶴市	宮津市	京丹後市	乙訓郡	久世郡	綴喜郡	相楽郡	船井郡	与謝郡	府外	計
小学部													56										56
中学部													47										47
高等部													62										62
合計													165										165

## (14) 府立舞鶴支援学校行永分校

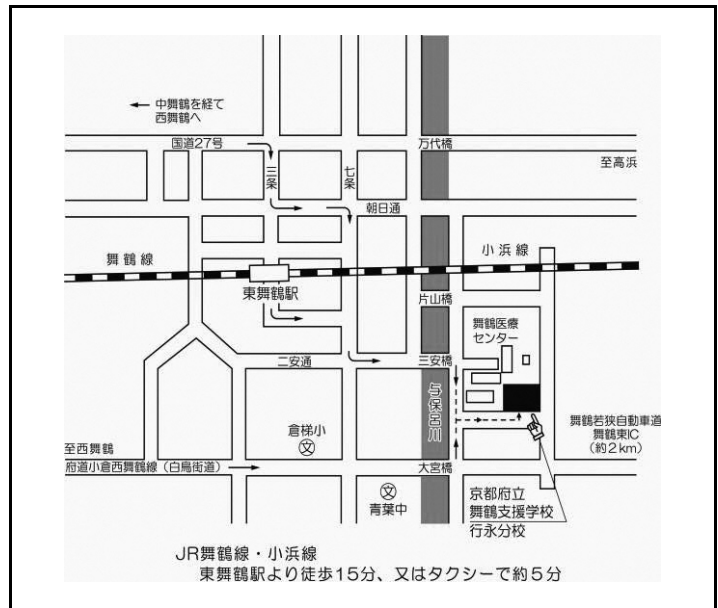


所在地	〒625-0052 舞鶴市字行永2510-17
電話・FAX	0773-63-6700 FAX 0773-63-6701
HP(URL)	http://www.kyoto-be.ne.jp/maizuru-yukinaga-s/
障害種別	病弱、肢体不自由
設置部	小学部 中学部 (高等部分教室)
関係施設	独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター 京都府立舞鶴こども療育センター

### 1 沿革の概要

- 昭和45年4月 国立舞鶴病院に舞鶴市立倉梯小学校の院内学級(病弱)を設置
- 昭和47年4月 学年進行に伴い、同病院に舞鶴市立青葉中学校の院内学級(病弱)を設置
- 昭和54年4月 昭和54年条例第5号により、病弱養護学校として、京都府立舞鶴養護学校開校
- 平成17年4月 京都府立舞鶴養護学校の新規開校に伴い、規則第9号により新たに京都府立舞鶴養護学校行永分校として再編
- 平成23年4月 舞鶴養護学校行永分校から舞鶴支援学校行永分校に名称を変更
- 平成28年4月 京都府立舞鶴こども療育センターの移転に伴い舞鶴支援学校北吸分校と統合

### 【学校位置略図】



### 2 教育方針

「よく学び、より鍛え、よりよく挑む」児童生徒の育成

- (1) 学ぶ意欲、主体的に考え行動する力、目標に向かって挑戦する力の育成
- (2) 基礎的・基本的な学力の育成、基本的な生活習慣の確立
- (3) 自分らしく、より質の高い生活をめざし、生活に生かせる力の育成

### 3 学校の特徴

- (1) 小、中学校に準ずる教育と障害の重度化重複化に対応する教育の実践
- (2) 個別の指導計画に基づき、基礎基本を重視する授業を展開し、個に応じた指導の実践
- (3) 医療スタッフとの日常的な連絡や定期的な連絡会に基づく学習支援
- (4) 前籍校等との連絡会や退院後のアフターケアなど、緊密な連携に基づく指導
- (5) 交流及び共同学習を進め、社会性を育む指導

### 4 幼児・児童・生徒数(地域別)

(令和3.5.1現在)

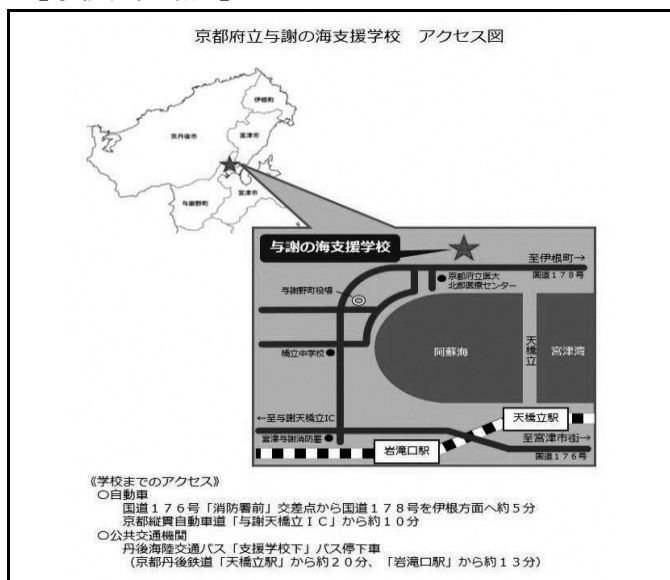
学部	地域	京	向	長	八	宇	城	京	木	亀	南	綾	福	舞	宮	京	乙	久	綴	相	船	与	府	計
		都	日	岡	幡	治	陽	田	津	岡	丹	部	知	鶴	津	丹	訓	世	喜	楽	井	謝	外	
小学部	病弱													1		0								1
	肢体				1	1						1		0		1								4
中学部	病弱											0	1	0										1
	肢体											1	0	2		1						1		5
合計	病弱											0	1	1										2
	肢体				1	1						2	0	2		2						1		9

# (15) 府立与謝の海支援学校



所在地	〒629-2261 与謝郡与謝野町字男山945番地
電話・FAX	0772-46-2770 FAX 0772-46-2771
HP (URL)	http://www.kyoto-be.ne.jp/yosanoumi-s/cms/
障害種別	知的障害、肢体不自由
設置部	小学部、中学部、高等部（普通科）

### 【学校位置略図】



## 1 沿革の概要

- 昭和43年9月 養護学校開設準備室を開設、校名を「京都府立与謝の海養護学校」と決定
- 昭和44年4月 入学式を挙行  
高等部別科生7名で岩滝町児童館横の仮校舎で発足
- 昭和45年3月 小学部・中学部・高等部を設置
- 昭和45年11月 第1・2期工事の完成式を挙行
- 昭和59年 府立中丹養護学校の開校に伴い綾部・福天地域の児童生徒が転校
- 平成17年3月 府立舞鶴養護学校の開校に伴い舞鶴市の児童生徒が転校
- 平成19年4月 「丹後地域教育支援センターよさのうみ」を開設
- 平成23年4月 名称を「京都府立与謝の海支援学校」と変更
- 平成26年4月 中学部・高等部に標準服を導入
- 平成27・28年 文部科学省「キャリア教育・就労支援等の充実事業」実施

## 2 教育方針

【目指す学校像】～地域で光り、地域を照らす～

【学校教育目標】 「自分で考え、人と結び、たくましく、豊かに生きる子どもたちを育てる」

- 命を大切にし、健康に生きる力をつける。
- 基礎学力や社会性を身につけ、自立し社会参加する力をつける。
- 自分の思いを発信し、主体的に生きる力をつける。
- 人とのつながりの中で、互いの良さに気づき、豊かな心で生きる力をつける。

## 3 学校の特徴

- (1) 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進及び医療的ケア、自閉スペクトラム症等の実践と研究
- (2) 12年間の系統的な教育と、希望進路の実現を目指した進路指導の推進
- (3) 「丹後地域教育支援センターよさのうみ」を中心とする、地域の保・幼・小・中・高等学校への支援（教育相談等）と教育・医療・福祉・保健・労働等関係機関との連携を推進
- (4) 地域に開かれた学校づくりと交流及び共同学習、居住地校交流の推進
- (5) 危機管理マニュアルの徹底による安心・安全な学校環境の整備

## 4 幼児・児童・生徒数（地域別）

（令和3.5.1現在）

地域	京都市	向日市	長岡京市	八幡市	宇治市	城陽市	京田辺市	木津川市	亀岡市	南丹市	綾部市	福知山市	舞鶴市	宮津市	京丹後市	乙訓郡	久世郡	綴喜郡	相楽郡	船井郡	与謝郡	府外	計
小学部														6	22						6		34
中学部														9	18						12		39
高等部														13	18						15		46
合計														28	58						33		119

### 3 令和2年度府立特別支援学校中学部及び高等部卒業生の進路状況

#### (1) 中学部卒業生の進路状況

(令和3.5.1現在)

学校名	区分	進学者				専修学校・ 各種学校	就職者	福祉サ ービス 等	そ の 他	合 計
		高等学校			特別 支援 学校 部					
		全 日 制	定 時 制	通 信 制						
盲 学 校				7					7	
聾 学 校				4					4	
向日が丘支援学校				16					16	
宇治支援学校				20					20	
城陽支援学校	1	1		1					3	
八幡支援学校			1	16					17	
南山城支援学校				22					22	
丹波支援学校				7					7	
亀岡分校				0					0	
中丹支援学校				16					16	
舞鶴支援学校				8		1			9	
行永分校	1			2					3	
与謝の海支援学校				12					12	
合 計		2	1	1	131	0	1	0	136	
%		1.5%	0.7%	0.7%	96.3%	0.0%	0.7%	0.0%		

#### (2) 高等部卒業生の進路状況

(令和3.5.1現在)

学校名	区分	進学者			教育訓練機関等 入学者		就職者	福祉サ ービス 等	そ の 他	合 計
		大 学	短 期 大 学	専高 攻等 科部	専修 学校 ・ 各種 学校	発職 ・ 業能 力開 等				
盲 学 校		1		2				2		5
聾 学 校		2					1	4		7
向日が丘支援学校						3	1	19		23
宇治支援学校						3	8	28	3	42
城陽支援学校							16	4		20
八幡支援学校							13	18	3	34
南山城支援学校							3	27		30
丹波支援学校							10	22	1	33
中丹支援学校						2		9		11
舞鶴支援学校						2	6	14	1	23
与謝の海支援学校							2	11		13
合 計		3	0	2	0	10	60	158	8	241
%		1.2%	0.0%	0.8%	0.0%	4.1%	24.9%	65.6%	3.3%	

#### 4 府内特別支援学級児童生徒数

(令和3.5.1現在)

局 別		設置校数	学級数	児童 生徒数	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
小 学 校	乙 訓	18	71	361	54	56	61	54	70	66
	山 城	74	204	815	109	119	141	147	152	147
	南 丹	28	83	310	52	56	48	65	42	47
	中 丹	40	81	259	30	40	43	43	50	53
	丹 後	31	54	149	14	31	27	28	24	25
小 学 校 計		191	493	1,894	259	302	320	337	338	338
中 学 校	乙 訓	8	24	114	39	46	29	/		
	山 城	35	86	330	112	110	108			
	南 丹	14	34	119	40	45	34			
	中 丹	17	35	117	40	38	39			
	丹 後	11	23	91	30	27	34			
中 学 校 計		85	202	771	261	266	244			
義 務 教 育 学 校	局 別	設置校数	学級数	児童 生徒数	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
	南 丹	1	3	4	0	0	1	0	0	1
	/				7 年	8 年	9 年	/		
1					1	0				

#### 5 令和2年度府内小学校及び中学校特別支援学級卒業生の進路状況

(1) 小学校卒業生

(令和3.5.1現在)

進路先 人数	中学校通常の学級	中学校特別支援学級	特別支援学校中学部	合 計
人 数	30	225	58	313
%	9.6%	71.9%	18.5%	100.0%

(2) 中学校卒業生

(令和3.5.1現在)

進路先 人数	進 学		教育訓練機関等入学		就 職 者	そ の 他	合 計
	特別支援学校 高等部	高等学校	各種学校 専修学校	職業訓練校			
人 数	86	128	1	0	1	4	220
%	39.1%	58.2%	0.5%	0.0%	0.5%	1.8%	100.0%

#### 6 府内通級による指導の実施状況

(1) 通級指導教室設置校数・教室数 (令和3.5.1現在)

校 種	設 置 学 校 数	教 室 数
小 学 校	89	130
中 学 校	37	42
高 等 学 校	2	2
聾 学 校	1 (分校含む)	1

(2) 通級による指導を受けている児童生徒数 (令和3.5.1現在)

校 種	通級による指導を受けている児童生徒数			
	自校通級	他校通級	巡回指導	
小 学 校	2,936	2,179	757	(81)
中 学 校	729	588	141	(122)
聾 学 校	小学校	4	4	(3)
	中学校	4	4	(3)

注 巡回指導は、他校通級の内数である。